

## 総則

スピードガンチャレンジは、定点で走行する車両を勝手に測定し、勝手に表彰するものである。よって、エントラントはやりたい者が勝手にやるものとする。優勝者は「おバカ!」もしくは「グレートなやつ!」呼ばわりされるという、最高榮譽が与えられる。

## 1. エントリー

当該ラリーにエントリーし、測定箇所を通過した車両となった時点で勝手にエントリーとする。00カー、0カー、スイーパー、弁当配給車も通過した時点で勝手にエントリーとする。尚、スピードガンチャレンジへのエントリーフィーは発生しない。本実行委員会が通過する車両を勝手に測定するものであり、ラリー競技者は計測点で必ずパフォーマンスする必要性はない。

## 2. 計測

測定箇所にて測定員が測定した速度と、パフォーマンスを加算したものを記録とする。速度、パフォーマンスの基準については、測定員の裁量に委ねられており、一定基準は不問とする。(パフォーマンスについては、手を振る動作、ホーンやライト等のアクションを安全の範囲内であれば、何をしてもかまわない。基本的には、ラリー規定内の保安を基準とする。)ラリーでリタイヤしても、計測地点さえ無事に通過していれば、記録は有効とする。実行委員は、レッキ時に計測点が見えるような表示をコース上に置くよう努力する。成績は、速度+パフォーマンス点(測定員の気分や思い付きで加点基準が変わる可能性も有る。)で集計される。ほか、公平性においては、保たれていなくとも良いこととする。後日もしくは当日において、計測箇所の映像が公開される場合もあれば、無い場合もある。

## 3. 安全

自由参加のため、破損、怪我は自己責任とし、安全の範囲内での走行を推奨する。事件を起こすと、次回から皆が楽しめなくなってしまう為、参加者は安全に配慮すること。特に、性能の劣る車や、頭の弱いクルーは、くれぐれも無茶をしないことを強く推奨する。計測点でのパフォーマンスにおいて、窓を開けての試技は安全のため計測対象としない。

## 4. 成績・表彰

表彰対象は、「狙うなら優勝」を前提とし、各クラス優勝クルーのみの表彰とする。但し、スポンサー権限により特別賞が設定される場合がある。表彰式は、本戦表彰前の時間帯にゲリラ的に行う可能性が高い。暫定結果や成績表の開示は面倒なため行わず、いきなり優勝クルーの発表を行う。尚、自分の成績を知りたい場合は、測定員に個別に聞くことは可能。賞品は優勝者が総取りとする。表彰時にその場にいない場合は、即、賞典外となることがある。万一、最高得点が同点となった場合、クルーの年齢が多い者を勝ちとする。よって、若者は全力で徹底的に高齢者を倒さねばならない。抗議については基本的に受け付けないが、物凄く面白いことを言った場合に限り、有効とする。

## 5. 測定員

ほぼ全権を有する測定員は、速度をベースとするが、加点については、個人の好み・当日の気分・その場にいたギャラリーの反応・等、採点に全ての要素を盛り込むことが許される。当日の測定員に対し、忖度・贈賄・脅し・おだて・強要等を行うことは可とする。なお忖度、賄賂について、笑いを誘うものは可とするが高価なものは不可とする。測定ミスや、集計ミス、改ざんが発覚し、本来の最高得点者ではない選手が優勝となった場合でも、測定員責任ではなくそれは“運”ということで、正規の優勝者とする。

## 6. クラス分け

正規のラリー競技のクラス分けに準じ3or4クラスとするが、測定員のだいたいの感性により、異なる場合がある。(地区戦/県戦併催時でも、地区戦/県戦に分けず上記の3or4クラスのみ。)

## 7. 車検・再車検

面倒なので行わないこととする。仮にインチキが判明しても、一笑に付して終了とする。

## 8. スポンサー

参加費無料なのに豪華商品を獲得出来るのはスポンサーあってのこと。大会当日くらいは、スポンサー各位に(過剰に)愛想を振りまくことを推奨する。エントラントからの賞品差し入れ(協賛)も大いに歓迎する。というか、ぜひお願いします。また、受賞者は、嬉しくなくとも表彰式の間は満面の笑みを浮かべることが望ましい。